

大学 e ラーニング協議会 2011 年度第 1 回全体ミーティング

会長挨拶・部会ミーティングプログラム

協議会開催に際して

会長 岡本 敏雄（電気通信大学）

大学 e ラーニング協議会が発足して 2 年が過ぎました。文部科学省の競争的資金による大学の e ラーニングプロジェクトの政策が、一過的なものでなく、着実に大学の中で根付いている政策として、多いに評価されているものと信じます。

これにより、大学教育の質保証、真の意味での大学教育における ICT 利活用が、目に見える形で展開しているわけです。e ラーニング自体も、Web 2 . 0 といったコンセプトおよびそれに関連する様々な Social-Media の開発によって、PLE (Personal Learning Environment) の充実と共に、社会的コミュニケーション、コラボレーションを含んだ、幅の広い教育・学習形態が実践されてきています。今後、基礎学力固めと探求的な学習形態をハイブリッドさせた教育形態が展開されていくものと思われませんが、より幅の広い e ラーニングの有り様を議論する時期に来ているかとも思います。

本協議会が、我が国の高等教育の有り様を改善する、さらに様々な学習資源を共有する有り方を、実践を通して対社会に発信できればと願っています。同時に、より一層、多くの大学の関係者に対して、本協議会に加入されることを切に願っております。

部会ミーティング・プログラム

【第1部会】(ユーザインターフェイスとシステム連携検討部会)

世話人校：関西大学、熊本大学

日本の教育学習環境に適した情報システムのデザインに関し、システム連携に関する話題提供とユーザインターフェイスに関する調査の進め方を検討する。

(1) 話題の提供

- ・Moodle等のLMSと他のWebアプリ(Google Docs等)のリアルタイム連携へのIMS Basic LTIの適用
- ・CMS/LMSと連携しモバイル機器を利用してスマートに教育と学習を支援するシステムの提案

(2) 調査方式の検討

- ・前回のCEASとBlackboardのユーザビリティ比較報告を参考に、CMS/LMSのユーザビリティの調査の進め方についてラウンドテーブル形式で検討を行う

【第2部会】(ポートフォリオによる教育支援検討部会)

世話人校：信州大学、電気通信大学、佐賀大学

第2部会では、ICT活用で得られる様々な学習支援データをポートフォリオを活用して有効に利用する実践事例として、大学におけるポートフォリオの利用状況を報告してもらい、その上で今後の方向を議論します。特に、最近多くの大学で導入が始まっているICカードを活用した実践事例について論じます。

【第3部会】(教材共有検討部会)

高度教育基盤検討委員会(被災大学等への教材提供)と合同で実施します。

世話人校：千歳科学技術大学、金沢大学

eラーニングの推進には、教材そのものよりも、どのような教育を提供したいと考えるかが重要です。教材はそれを実現させるためにあり、効率化のために共有することもあるでしょう。ですが、実際には共有化までなかなか至りません。そこで、まずは既に実施されているeラーニングについて、どのような教育を行うと考えたのか、それを踏まえて、どのような教材を作成したのかを挙げ、そこから、実施したい教育と使用する教材をつなぐ要素について検証します。

協議会では、教材を活用した利用実践の収集に向けて、今年度の部会の進め方について、皆様のご意見を伺います。